

第5回「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」

2023年4月11日

一般社団法人
全国空港給油事業協会



一般社団法人
全国空港給油事業協会



全国空港給油事業協会の概要について

【設立】

昭和57年12月2日 全国空港給油事業連合を設立
平成5年6月24日 社団法人として認可
平成24年4月1日 一般社団法人として認可

【会員】（令和4年4月1日現在）

正会員 25社
賛助会員 19社 計44社

【役員】（令和4年4月1日現在）

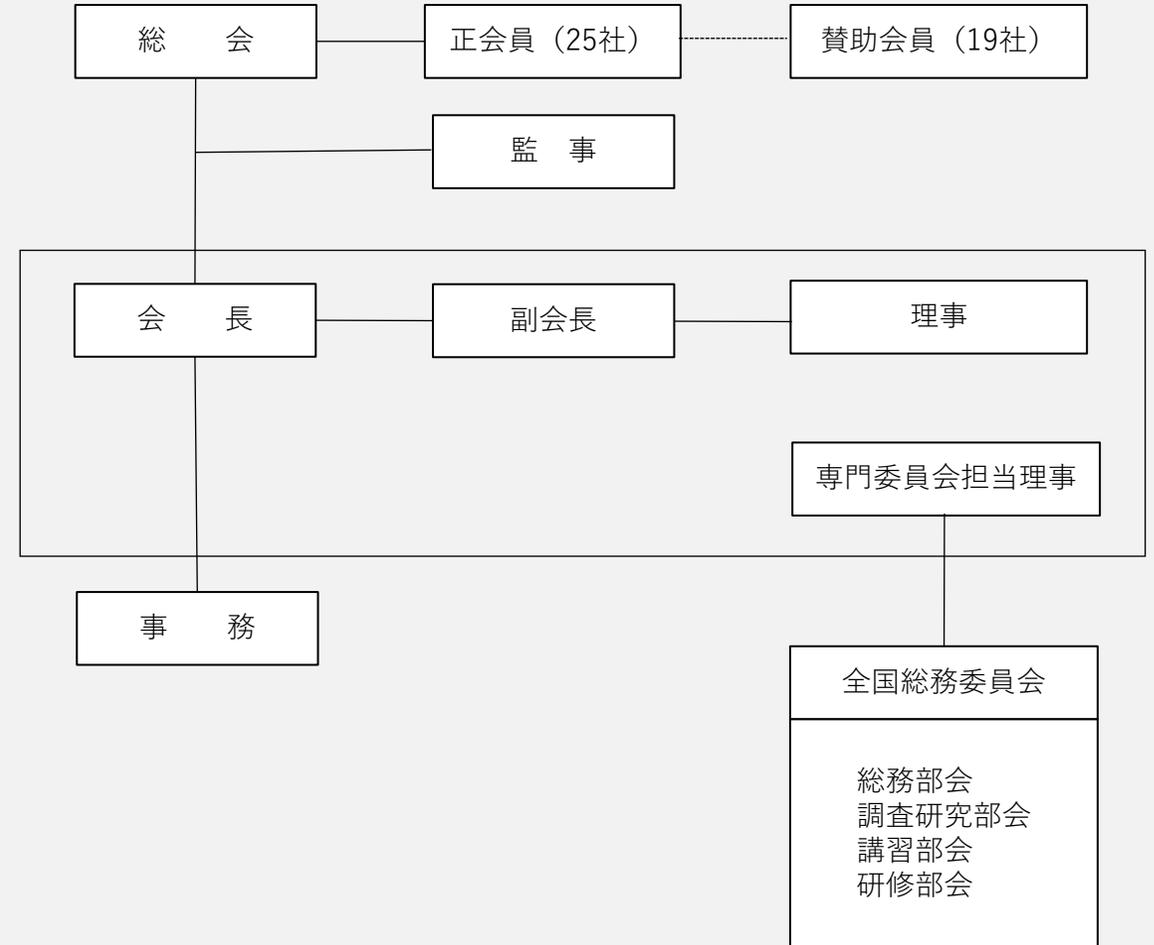
理事 12名（会長1名、副会長3名を含む）
監事 2名

【事務体制】

事務長 1名
事務長代行 1名
事務員 1名

【主な事業内容】

- (1) 航空燃料供給施設及び管理の改善に関する調査・研究
- (2) 本邦の空港における燃料給油サービスの技術改善に関する調査・研究
- (3) 会員相互の連携及び内外の空港関係諸団体との交流
- (4) 空港給油事業の健全なる発展のための関係諸機関及び団体との連絡調整





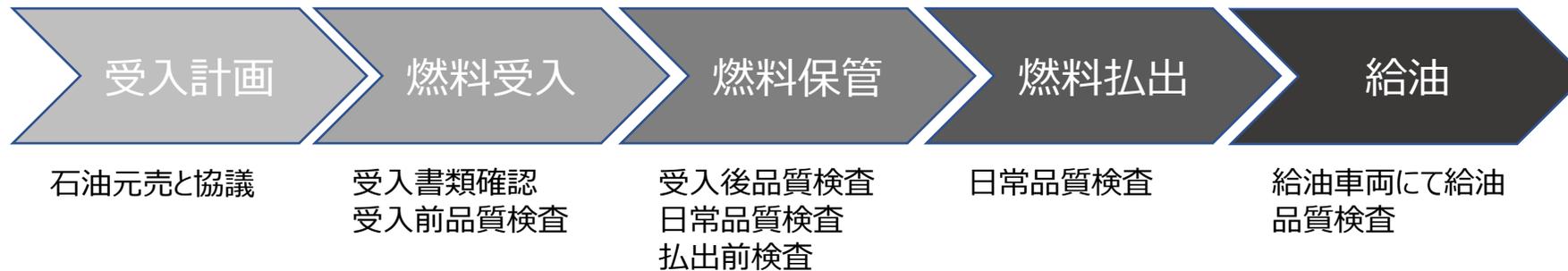
航空燃料取り扱い事業について

【施設事業】

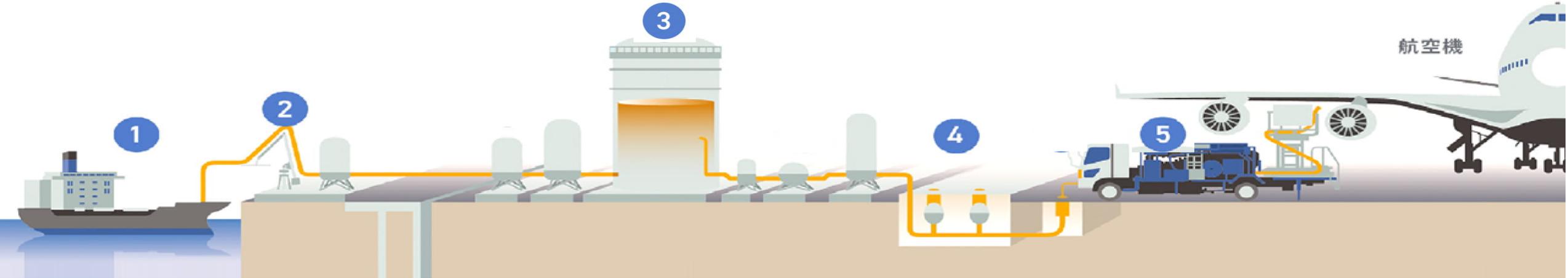
- ・航空燃料の受入れ、保管・・・専用船やタンクローリーから航空燃料を貯蔵タンクへ受け入れる。
- ・航空燃料品質管理・・・石油連盟の定める規格に基づき検査を実施
- ・航空機給油施設管理・・・消防法等の各種法令および石連指針に則り給油施設の点検を実施

【給油事業】

- ・航空機への給油作業
- ・航空機からの燃料抜き取り作業
- ・給油車両の点検整備



【タンカーから燃料を受入れ ハイドラントを使用した場合の給油作業】



①タンカー

②ローディングアーム

③貯油タンク

④地下ピット

⑤給油車両



航空燃料を運ぶ
専用のタンカー

【作業員】 3~4名



タンカーと桟橋上配管
を接続する装置



受入れた航空燃料を
貯蔵するタンク



主配管と枝管の分岐・交
流点に設置した地下ピット



航空機とハイドラントバル
ブを中継する車両

【作業員】 1~2名

【タンクローリーから燃料を受入れ フューエラーを使用した場合の給油作業】



①タンクローリー



航空燃料を運ぶ
専用のタンクローリー

②貯油タンク



受入れた航空燃料を
貯蔵するタンク

③フューエラー



航空燃料を積み込む
車両

【作業員】 1～2名

④給油作業



航空燃料を積み込んだ
車両で給油を実施する

【作業員】 1～2名

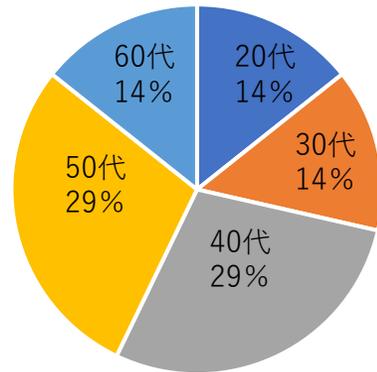


人員について

◆ 人員構成

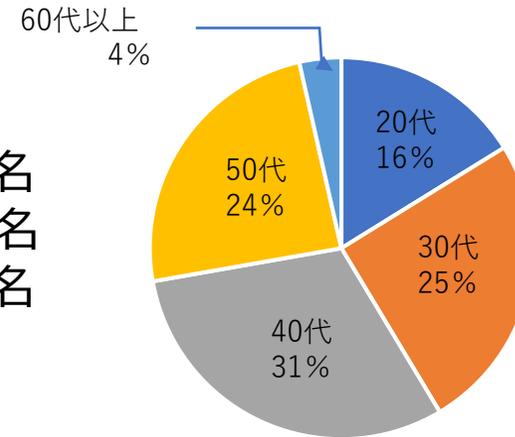
A社

男性 13名
 女性 1名
 合計 14名



B社

男性 191名
 女性 7名
 合計 198名



◆ 採用

【新卒採用】

- ・専門学校に対し、会社説明会の実施
- ・インターンシップ制度の導入
- ・航空系専門学校

【キャリア採用】

- ・転職サイト、ホームページの活用
- ・退官自衛官向け説明会の実施

【リファラル採用】

- ・紹介制度の導入

【勤務形態】

- ・24時間勤務の場合 (例) 早番・中番・夜勤・夜勤明け・休み・休み
- ・日勤の場合 (例) 早番・早番・遅番・遅番・休み・休み

**【課題】**

- 航空業界の志望者及び専門学校入学者が減っている中での人材確保
- 給油作業の認知度が低い
- 資格取得までの先行投資が大きい
 - ・危険物取扱者 乙種第4類、中型自動車第一種・大型自動車第一種
 - ・航空機毎の給油資格
- 給油車両の共有が難しい（作業要領などが各社ごとに違うため）
- 作業を一人で実施するための教育訓練に時間（1～2年）を要する
- 航空機整備による燃料抜き取り、給油作業への対応
- 従業員の待機場所・休憩時間確保